

# 仕様書

イノベーション戦略センター

## 1. 件名

フロンティア領域の導出に資する技術インテリジェンスの高度化に係る調査

## 2. 目的

日本においてイノベーションを創出するためには、社会の動向を俯瞰的に捉えるフォアサイト活動を通じてフロンティア領域の候補を導出することが求められている。そのため、NEDO ではそれに資する技術インテリジェンスの活動成果として Innovation Outlook (以下、「IO」という。) Ver. 1.0 を策定したが、今後は幅広い分野にまたがるような大きな社会的インパクトが期待できるフロンティア領域を導出していくことが必要である。そのためには、社会課題からのバックキャストで広範多岐な総合知での調査・分析を行う等、技術インテリジェンスの高度化が重要である。

そこで、様々なフォアサイト活動の実績及び知見を有する国内外機関の調査・分析手法を調査し、その結果を踏まえワークショップ等を試行して、社会課題を起点とした多角的な議論を行うことによって社会的インパクトが大きいイノベーションの実現に向けて、取り組むべきフロンティア領域の候補を導出する具体的な手法の検討等を行うことを目的として調査を実施する。

## 3. 内容

上記の目的を達成するために下記の項目について調査を実施する。なお、各調査項目の検討・実施にあたっては、各項目の調査の細部について NEDO と協議の上で決定することとする。

### (1) フォアサイト活動に係る手法の実態に関するデスクトップ調査

国内外の機関が実施する俯瞰分析・ホライズンスキヤニング・シナリオプランニング等のフォアサイト活動における、ワークショップ (WS) の開催等の総合知を集約する調査・分析手法及びその成果について、デスクトップ調査を行う。

### (2) TSC が実施する国内外の機関との意見交換支援

前項のデスクトップ調査において十分な調査できない内容については、TSC がオンラインまたは現地で当該機関と意見交換を行うこととし、次の内容に関する支援を行う。

- a. 意見交換の際の移動等に関連する情報収集、日程調整、議事録の作成 (国外機関の場合には必要に応じて通訳も含む)
- b. オンラインでの意見交換の場合には、日程調整及び議事録の作成 (国外機関の場合には必要に応じて通訳も含む)

### (3) 2026 年度に策定する IO に係るテーマに対するワークショップの実施支援

- a. 総合知によるワークショップの設計
- b. 参加すべき有識者等の選定及び関連する手続き
- c. ワークショップの準備及び実施支援
- d. ワークショップ実施後の記録の整理及び参加者へのアンケートに係る事項

### (4) (1)~(3)項の結果を踏まえ、今後 IO のバージョンアップを行うためのバックキャストの視点からの調査・分析手法 (WS のあり方等を含む) について必要な提言の実施

#### 4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2027 年 3 月 31 日まで

#### 5. 予算額

2,000 万円以内（税込）

#### 6. 報告書

調査報告書の電子ファイル一式を、それぞれ以下の期日までに NEDO プロジェクトマネジメントシステムで提出すること。

調査報告書の提出期限：2027 年 3 月 31 日まで

記載内容については、「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って、作成の上、提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

#### 7. 報告会等の開催

委託期間中又は委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

#### 8. その他

- (1) 必要に応じて、進捗確認を実施するものとする。
- (2) 本仕様書に定めなき事項については、NEDO と実施者が協議の上で決定することとする。

以上